

【 生物多様性の価値の認識と保全行動の推進 】

(要請内容)

(1) 多くの動植物が暮らす生物多様性が保たれた豊かな生態系は、私たちに安全で快適な生活を保障し、衣・食・住に必要な資源などを提供しています。

生物多様性の損失を止め社会変革を実現するためには、生物多様性の重要性等に対する県民の知識と関心を高め、行動の変化につなげることが不可欠です。生物多様性を含めた環境教育の推進と、それを支える人材の育成について充実されますよう要請します。

(2) 社会全体でネイチャーポジティブ（自然再興）を実現し定着させていくためには、県民一人ひとりが生物多様性に配慮した商品やサービスを自らの意思で選択できるような社会を構築することが重要です。

人々が意識や行動を見直し、自発的に生物多様性の保全に資する選択をするようになるためには、そのきっかけとなる情報や体験、実際に行動を起こす場の提供などが求められます。このため、多様な主体との連携を促すプラットフォームの構築やイベント等の実施、行動科学に関する知見の収集や活用、官民連携の推進等を通じ、人々の行動変容につなげていくよう要請します。